科	目	地理総合	学年•類型	型 1年生普通科・国際文理科・商業科 単位数 2				
	教	科 書	高等学校	校新地理総合(帝国書院) 詳解現代地図(二宮書店)				
	副	教 材 等	高等学校	校新地理総合ノート(帝国書院)				
学 <sup>:</sup>		けて理解させ 2. 世界と日本を	る。 比較し多面的 こっている事	工関する地域的特色とその動向を、自然環境・社会環境と関連づ 的に考察させることによって地理的な見方や考え方を養う。 事象を的確・冷静に捉え分析して、国際社会に生きる日本人と				
ľ	世理学は極めて総合的な学問であり、高校で学ぶ内容はすべて根本的に必要な考え方です。具体的には、気候、資源、産業、人口、民族などの系統的内容はもちろんですが、過疎・過密問題、農業のグローバル化、新興国の発展による世界情勢の変化、地球温暖化による異常気象など地理がカバーする範囲は極めて広く、時空間的かつ学際的に地域を理解することも重要です。また、小論文の材料としても最適な学問であるため、普段から新聞の社会欄などに目を通す習慣を身に付けましょう。							
	単元	(予定時数・実施時	数)	主 な 学 習 活 動				
1	(1) (2)	地図と地理情報ススラ 地球上の位置と時 地図の役割と種類 結び付きを深める	地図る。 差の発	日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に, 図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解す 地球の特徴を捉え、球体を地図に表現した場合の特性や時 の求め方を通して、現代世界の地理的事象を捉える地理的技 を身につける。				
学	(1)	現代世界の国家と ガローバル化する	・現 領域 主題 の結	現代世界の地域構成について,位置や範囲などに着目して, 題を設定し,世界的視野から見た日本の位置,国内や国家間 結び付きなどを多面的・多角的に考察し,表現する。				
期	解	生活文化の多様性	理的つこ	世界の人々の特色ある生活文化を基に,人々の生活文化が地 的環境から影響を受けたり,影響を与えたりして多様性をも ことや,地理的環境の変化によって変容することなどについ 理解する。				
[ ]	(3)	)世界の気候と人々 )世界の言語・宗 生活	数と人々所の題を	世界の人々の生活文化について,その生活文化が見られる場 の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して,主 を設定し,多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察 表現する。				
学	(5)	)歴史的背景と人々 )世界の産業と人々 地球的課題と国際	マの生活 を視 る態 系協力	生活文化の多様性と国際理解について,よりよい社会の実現 現野にそこで見られる課題を主体的に追究,解決しようとす 態度を養う。				
期		HIVE	2地球的など	世界各地で見られる地球環境問題,資源・エネルギー問題, どを基に,地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の 車性などについて大観し理解する。				
		)地球環境問題 )資源・エネルギ	一問題					
三	(5)	)人口問題 )食料問題 )都市・居住問題	を基 た名	世界各地で見られる人口・食料問題及び居住・都市問題など 基に,地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指し 各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理 する。				
期		自然環境と防災 生活圏の調査と地 -	地域の展 ・生	自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に,自然災の規模や頻度,備えや対応の重要性などについて理解する。 生活圏の調査を基に,地理的な課題の解決に向けた取り組み 深究する手法などについて理解する。				

評	価 の観 点 及 び 内 容	評 価 方 法
知識・技能	現代世界の地域的特色と日本及び世界の地理的事象の展開に関して理解しているとともに、	・定期考査 ・授業中の活動への取組

	調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的 に調べまとめている。	・ワークノート・ワークシートの記述・作業内容・ルーブリック評価
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互 の関連を、概念などを活用して多面的・多角的 に考察したり、社会に見られる課題の解決に向 けて構想したり、考察、構想したことを効果的 に説明したり、それらを基に議論したりしてい る。	・定期考査 ・ワークノート・ワークシートの記述・作業内容 ・主題自主設定レポートの記述内容 ・ルーブリック評価
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の 形成者として、よりよい社会の実現を視野に課 題を主体的に解決しようとしている。	・授業に取り組む態度 ・ワークノート・ワークシートの記述・作業内容 ・主題自主設定レポートの記述内容